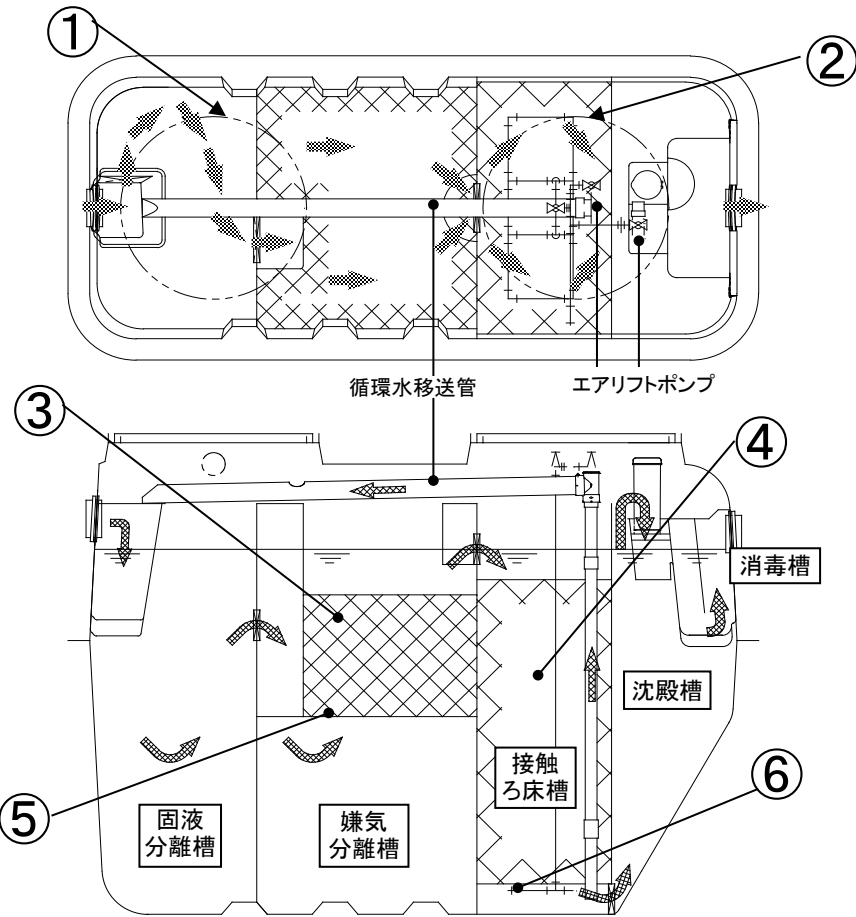
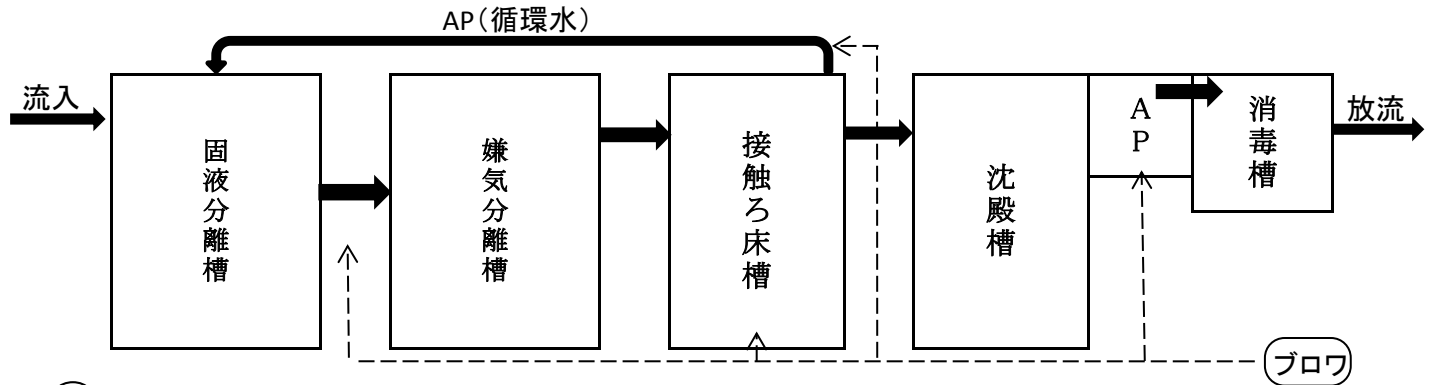


CXN アムズ(株) OEM: なし 共同開発: なし 処理方式: 嫌気分離接触ろ床方式 5・7・10人槽	窒素除去型		全浄協登録値		
	BOD	SS	T-N		
	20mg/L以下	—	20mg/L以下		
	性能評定または性能評価値				
	BOD	SS	T-N		
20mg/L以下	15mg/L以下	20mg/L以下			



- ①接触分離槽/嫌気分離槽
- ②接触ろ床槽
- ③担体
- ④へチマ様板状接触材
- ⑤担体受け
- ⑥散気管

有効容量 (m ³)		5人槽	7人槽	10人槽
槽名	固液分離槽	0.475	0.658	0.909
	嫌気分離槽	0.664	0.932	1.397
	接触ろ床槽	0.405	0.568	0.841
	沈殿槽	0.234	0.308	0.483
	消毒槽		0.022	
合計		1.800	2.488	3.652

槽底部からろ材受け面までの距離(mm)	嫌気分離槽	650	800
---------------------	-------	-----	-----

循環装置	循環装置 エアリフトポンプ バルブ開度(%)	散気 バルブ(%)	揚水バルブ 目盛(%)
有	30	50	10

人槽	ブロウ風量 (ℓ/分)
5	60
7	80
10	120

[人槽に対する循環水量の設定範囲]

人槽(人)		5	7	10
循環装置 エアリフトポンプ	移送水量(ℓ/分)	2.1~2.8	2.9~3.9	4.2~5.6

・循環水量は、使用水量(日平均汚水量)を算出し、流入水量の3~4Qになるように調整してください。
 ・循環水量の測定は、流入水が無く水位がLWLであることを確認してから実施してください。

特 徴

固液分離槽 流入汚水中の粗大な固形物を分離・貯留し、流入バップルは阻流板構造となっており、流入バップル底部横方向の開口から移流するため、浴槽排水や洗濯排水などのピーク流入による貯留汚泥の攪拌や移流を抑制し、堆積汚泥やスカムを安定貯留する。

嫌気分離槽 汚泥の補足性が高く整流効果の高い担体(網様円筒状担体: φ 55×55mm)が充填しており、移流水中に含まれる固形物や浮遊物を除去する。循環水に含まれるNO_x-Nの脱窒反応が進行する。

接触ろ床槽 槽内には比表面積の非常に大きい接触材(ヘチマ様板状接触材:セル目幅60×80mm)が充填されており、全面ばっ気方式で攪拌混合されており好気状態に保たれている。

沈殿槽 3面ホッパー構造となっており、汚泥を効率よく集積し、槽底部に設けてある循環装置により固液分離槽に移送する。揚水管が設置されており、上澄水を消毒槽へ移送する。そのため、水準目安線の水位から50mm変動する。

作業時のポイント

保守点検

- ①接触ろ床槽の全面ばっ気状況を確認してください。必ず散気バルブを片側ずつ全開にして逆洗をしてください。
- ②循環水量を上表の水量になるよう実測して調整してください。
- ③揚水管は揚水の状況を確認し、吸い込み部より高い水位で揚水されない場合は配管の洗浄を行ってください。

清掃

- ①固液分離槽・嫌気分離槽は、全量引き抜いてください。